**【論点】優秀論文に輝いた先輩の論文を参照することで学び、今後気を付けていくべきことについて話し合おう！**

**◆ゼミ当日までの宿題**

①コンテクストの記述、②問題の記述、③問題に対する応答

→これら３つは序論の共通要素であるが、先輩方の卒業論文でこれら３つの要素にあたる箇所を探し、以下の議論のポイントに発言できるよう考察してこよう！

※該当すると考える箇所のみ、読んできてくれればOKです。（もちろん全文読んできても構いません）

**◆当日の議論のポイントの例**

【先輩方の序論はクラフトで述べられている序論のような形式となっているだろうか？】

◇ほとんどの論文では[共通の前提]⇒[問題により混乱]という流れが序論にはあったが、先輩方はどのようにこの流れを組み立てていたか？

　・They（most research reports） open with a stable context of a stable context of a common ground―some apparently unproblematic account of research already known. The writer then disrupts it with a problem,…（p.235.l.18-21）

 …ほとんどの研究論文は共通の前提という固定されたコンテクスト（すでに知られている一見問題のない研究の報告）で冒頭は始まる。その後、筆者は問題で混乱させ…

　・Some readers might find that problem disturbing enough to motivate their reading, but we can heighten its rhetorical punch by introducing it with the seemingly unproblematic context of prior research, *specifically so that we can disrupt it.* （p.236.l.4-7）

　…ある読者たちは、彼らの読書の動機づけを十分に混乱させる問題を見つけるかもしれないが、以前の研究の一見問題のないコンテクストを用いて紹介することにより、その修辞による衝撃を高めることができ、*それにより特に読者を混乱させることができる*。

◇「人文学といくらかの社会科学では、研究者は独自に発見したもしくは発明した疑問や、読者が新しい、驚きを感じるような疑問を据え置くことが多い。」と述べられていたが、先輩方の疑問はそれにあてはまっているだろうか？

　・In the　humanities and some social sciences, researchers more often pose questions that

they alone have found or even invented, questions that readers find new and often

surprising.（p.239.l.5-9）

　…人文学といくらかの社会科学では、研究者は独自に発見もしくは発明した疑問や、読者が新しい、驚きを感じるような疑問を据え置くことが多い。

◇①main point/solutionを序論の終盤にかけて記述するか、もしくは、②main pointは結論に書くようとっておいて序論ではlaunching point（main pointが結論で述べられることを想定させるようなきっかけを作るポイント）を記述するか、どちらかの方法をとることができるが、先輩方の卒論はどちらの方法をとっているだろうか？

・Once you disrupt your reader’ stable context with a problem, they expect you to resolve it with your main point. You can state that point in one of two ways.(p.241,l.17)

…一度問題によって読者の固定されたコンテクストを混乱させると、読者はあなたにmain pointでそれを再解決してほしいと期待する。あなたは二つのうちのどちらかの方法でそのポイントを述べることができる。

・You can state your main point / solution explicitly toward the end of your introduction:（p.241,l.21）

　…あなたは、序論の終盤に向けて、main point／解決策を述べることができる。

・Alternatively, you can delay your main point by stating toward the end of your introduction only where your paper is headed, implying that you will present that point in your conclusion. This approach provides a launching point and creates a point-last paper.（p.241,32～p.242,l,2）

…もう一つの方法として、序論の終盤に向けて論文が何を目指しているのかだけを述べることで、main pointを先延ばしにすることができる。そうすることで、結論でそのmain pointを発表することを暗に意味するのである。このアプローチは、launching pointを提供し、main pointが最後にくる論文を創り出す。

◇序論での「最後の決断はどのタイミングであなたの問題を提起するかである。それは読者がどの程度知っているのかによる。」とあったが、先輩方は想定された読者に合わせて、どのくらい説明を加え、どのくらいのタイミングで問題を提起していたか？

　・A final decision is how quickly to raise your problem. That depends on how much your readers know. (p242.l.27)
　…最後の決断はどのタイミングであなたの問題を提起するかである。それは読者がどの程度知っているのかによる。

　・When you open quickly, you imply an audience of peers; when you open slowly, you imply readers who know less than you. (p243.l.18)

 　…あなたが早い段階で問題を述べると、それは仲間を読者として暗に意味していることになる。遅い段階で問題を述べる場合は、あなたよりも知識のない読者を意味することである。

などなど…

⇒**もし以上のポイントがあてはまっていない又はできていないとしたら、どうすればよりよくなるかを考え、自分達の論文に生かそう！**